

マナーアップキャンペーン

7月1日の求人受け付け開始に向けて生徒指導係を中心に立門指導をします。夏の「マナーアップキャンペーン」です。7月1日からは企業の採用担当者や大学・短大・専門学校の入試広報課の方が直接お見えになり、学校の雰囲気や生徒の様子を観察していきます。その際は、「東御清翔高校」に対してよい印象を持って帰ってほしいですよね。なぜなら、そのことが3・4年生だけでなく、全校生徒皆さんの進路実現と直結するのですから。

今回で3年連続になりますが『人は見た目が9割』（竹内一郎著：新潮社刊）という本を紹介します。これはアメリカの産業心理学者アルバート・メラビアン「メラビアンの法則」を著者の竹内一郎氏がご自身のお仕事などを通じて実証されているといった内容の本です。ここでもう一度「メラビアンの法則」を紹介しておきましょう。



相手に与える自分の印象は、55%の視覚情報（表情・仕草・見た目・視線など）、38%の聴覚情報（声質・声の大きさ・抑揚・テンポなど）、残り7%の言語情報（言葉使い、内容など）によって決まる。

この55%の目に映る情報と、38%の音の情報の合わせて93%が『人は見た目が9割』という本の題名の所以です。

さて、君たちは企業の採用担当や学校の入試担当の人たちにどのような印象を持ってもらえるでしょうか。「この学校の生徒なら、ぜひ採用しよう」「この学校の生徒なら、うちの学校にもほしいな」と思ってもらえるでしょうか。〈清潔感のない頭髮、ピアス、カラーコンタクト、シャツだし、腰パン、広く開けた襟もと、短すぎるスカート丈〉どれをとってみても高校生にはマイナスのものばかりです。

3・4年生は自分自身の問題です。自分の進路実現のために、まずは身なりから正しましょう。そして1・2年生は上級生の制服の着こなしや言葉づかい、生徒昇降口の靴やサンダルの様子をよく観察してみましょう。これが「東御清翔高校の具体的な理想の生徒像」、下級生の良いお手本です。1・2年生はぜひ見習ってください。3・4年生の進路実現に迷惑をかけないように、そして自分自身の進路実現のために！

傘を差しての歩行に気をつけてください

梅雨に入りました。傘を差す機会が増えますが、**並んで歩道を歩くときは絶対に車道にはみ出さないようにしてください。**また傘を差して自転車を運転することは禁止です。まずは、自分の命は自分で守る意識を持ちましょう。